

クリーク公園のゴミ拾い



私たちは今のクリークの現状を知るために横武クリーク公園にゴミ拾いに行きました。たばこの吸い殻やちり紙、ペットボトル、空き缶、袋など私たちが拾ったものだけで合わせて1017gもありました。駐車場の所にゴミが多く、車の中で食べたり飲んだりしたゴミがそのままポイ捨てされていると考えました。クリーク公園の中にはポイ捨て禁止のポスターや看板もありましたが、ゴミがたくさんあり悲しくなりました。

多かったゴミの種類

1位 たばこの吸い殻

2位 ペットボトル、空き缶

3位 ちり紙



アンケート結果（専門家）

専門家の人にクリークのことについてアンケートに答えてもらいました。

1 クリークには外来種と在来種どちらが多いですか？

「特定外来種」に指定されている魚がクリークに入ってしまうと 在来種の数が一気に減ってしまい外来種が増えてしまいます。 だから外来種が多いです。



2 クリークにはどんなごみが捨てられていますか？

自動車やバイク、自転車、電子レンジや冷蔵庫、家電などの大型のごみやビニール、プラスチックなどのごみが捨てられています。



3 在来種を増やすにはどうすればよいですか？

在来種の生息に悪影響を及ぼす外来種を駆除するとともに、在来種が生息しやすい環境をつくり、それらを維持することが必要です。

4 クリークがきれいだるとどんな良いことがありますか？

クリークが本来持っている役割や、機能を十分に発揮することができます。そして多様な生き物が生息しやすい環境を維持することができます。

アンケート結果（6年生）

アンケートでクリークに落ちているのを見たことがあるごみの種類を調べました。落ちているのを見たことのあるごみは、空き缶、たばこ、ビニール袋、お菓子のごみ、ペットボトル、ビン、紙、釣り糸がありました。その中でも見たことがある人が一番多かったのは、ペットボトルとお菓子のごみでした。二番目は、ビニール袋でした。三番目は、空き缶でした。私たちは、ペットボトル、空き缶があったことから、飲んだ後ごみ箱に入れず捨てていったと考えました。また、お菓子のごみがあったことから、ごみ箱に捨てずそのまま捨てていったと

考えました。このように、すべてそのまま置いて行ったことが原因でゴミが増えていったと考えました。

クリークで見たことがあるゴミの種類 (6年1組)



赤色…お菓子のごみ 22%

黄色…ペットボトル 22%

青色…ビニール袋 20%

緑色…空き缶 16%

紫色…その他